

研究室紹介

兵庫教育大学大学院学校教育研究科 学校健康教育学研究室 鬼頭・西岡ゼミ

大学の概要

兵庫教育大学は、学部、修士課程・専門職学位課程、連合大学院博士課程を持ち、「学校教育」の理論と実践に取り組む大学です。英語名が Hyogo University of Teacher Education であることからわかるように、とりわけ教員の研鑽支援に力を注いでいます。大学院の定員は1学年300人ですが、現職教員は、その割合が減りつつも3分の1弱を占めます。ただ、現職教員が自治体から派遣されたり、交通事情が悪い本学において職務の合間をぬって修学したりすることは、容易ではありません。そこで、夜間大学院のための神戸サテライトをJR神戸駅前に開設したり、現職教員のための奨学金制度や研究経費助成制度を設けたりするなどしています*。また、学部卒で小学校教員免許の取得を希望する院生のために、3年間で免許を取得する小学校教員養成特別コース(教職大学院の1コース)を持つことも本学の特徴です。

*現職教員学生の実践的な研究に対する奨学金の給付制度が充実しています。

- ・ベネッセ教員育成研究奨学金
- ・現職教員学生対象研究経費助成

学校健康教育学研究室の紹介

学校健康教育学研究室は、子どもたちの健康の保持増進、安全確保、健康・安全上の諸課題の解決をめざして、学校での包括的アプローチである保健・安全管理、健康・安全教育、ライフスキル教育などについて研究しています。スタッフは、現在、鬼頭英明教授と西岡の2人です。昨年度末までは勝野眞吾前副学長(現、岐阜薬科大学長)も指導され、現在の研究室の基盤と方向性を創って下さいました。学生数は、大学院生が各学年6, 7人、学部生は各学年2, 3人で、計18人です。

担当教員紹介

鬼頭 英明 健康教育調査官として勤めた文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課での経験を活かし、喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育、医薬品に関する教育や学校環境衛生、子どもの健康管理など、学校保健の推進に力を注ぎたいと考えています。

*近年の主な活動および研究

最近の研究としては、高校生の危険行動全国調査、高校生の危険行動の国際比較研究などを行っています。また、社会活動として、文部科学省「大学生等に対する薬物乱用防止啓発資料作成協力者会議」「学校環境衛生管理マニュアル作成委員会」等の委員、日本学校保健会「医薬品の正しい使い方に関する指導方法検討委員会」「メディアリテラシーと子どもの健康委員会」等の委員などを務めたり、同様の内容の教育委員会等の研修を担当したりしています。

西岡 伸紀 青少年の危険行動を防止したり健康・安全上のリスクに対処したりする能力の育成をめざす健康・安全教育、ライフスキル教育について研究しています。特に、教育内容の構成、評価方法(プロセス影響及び影響評価)について、喫煙、飲酒、薬物乱用、犯罪被害などを対象に取り組んできました。健康課題を包括的に扱っている保健学習にも関心があります。

*近年の主な活動および研究

最近の研究としては、学校安全対策の評価システムの開発、防犯教育評価指標の開発、小学生の防犯に関する意識、判断等の調査研究、意志決定プログラムの開発などに取り

組んでいます。また社会活動では、安全教育参考資料、転落防止資料、校内研修DVDなどの改訂・作成協力（文部科学省）、保健学習、喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育、メディアリテラシー教育の参考資料などの作成協力（日本学校保健会）、同様の内容の教育委員会等の研修などを務めてきました。

院生・学部生の研究テーマ

本研究室では、院生に現職者が多く職種が多様です。最近では、小・中・高養護教諭、小学校教員、中・高保健体育教員、小学校栄養教諭、保健師、助産師、大学・専門学校教職員（看護師、歯科衛生士、管理栄養士）などが在籍してきました。ストレート院生としては、スポーツ、栄養等関連の学部・学科から、またベトナムや内モンゴルからも進学してきました。

院生の研究には、学校や職場等のニーズに応じた実践的なテーマが多く見られます。具体的には、慢性疾患児の学校生活への支援、高校での「麻しん」に関わる保健指導、養護教諭の性に関する個別指導^{*1}、小学生や高校生の意志決定^{*2}、中学生の学校等へのつながりの意識と危険行動^{*3}、高校生の危険行動の全国調査及び国際比較、小・中学生の傷害に関する日中比較、青少年のドーピング、小・中・高校生と保護者の喫煙、飲酒、薬物乱用の意識と相互関連、幼児の保護者の食に関する意識、妊婦のサポート希求などです。

*1、*3、平成21年度ベネッセ教員育成研究奨学金および現職教員学生対象研究経費助成を受給

*2、小学生対象研究は平成20年度ベネッセ教員育成研究奨学金を受給

活動風景

研究テーマについて、D2とM2は日本学校保健学会と近畿学校保健学会で発表することになっています（最近2年間は近畿学校保健学会と日本健康教育学会と日程が重なり実現していませんが）。他の院生も、近畿学校保健学会には可能な限り参加してきました。

研究室では、教員が出張、昼夜間両コースの担当などから不在とする日も少なくないのですが、学生は自主ゼミ等も行いよく学習しています。



ゼミ風景



* ベトナム料理会食風景 *

ただ、研究室として、遊びも大切と考えるようになってきました。従来の加東キャンパスでの新歓・送別会（キャンパスの庭でバーベキューができます）、三宮での忘年会、カレー・生春巻き・たこ焼きパーティなど国際色・地方色豊かな食事会に加えて、今年度は、日本海カニツアーが企画されています。

（文責 西岡伸紀）

学会通信 124 号 平成 21 年 10 月 28 日発行